

すわみつえ通信

No.300 2024年1月22日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届けたい声がある 声をかたちに

すわみつえ通信300号を迎えて

すわみつえ通信発行の発端は、吹上駅での宣伝中に「あなたの名前と連絡先が入ったピラを配って」とシルバー人材の顔なじみの方にアドバイスをいただいたことからです。第1号は2017年11月13日発行です。皆さんにご支援いただき300号を迎えました。各駅で7時から8時にお届けしていますが、先日

は「横書きにしてもらえませんか。電車で読むときに縦書きだと読みづらいです」とご意見をいただきました。今号から横書きに変更しました。皆さんからのご意見を取り入れながら双方向型のコミュニケーションツールにしていきたいと思います。

今後とも宜しくお願い致します。

希望ある未来に向けた 歴史的大会を終えて

日本共産党第29回党大会は1月15日から18日まで4日間にわたり開催し、行き詰まった自民党政治を終わらせて、希望ある平和な社会をつくろうとスタートを切りました。

大会で新たに215人の中央委員が選出され、志位和夫中央委員会議長、田村智子幹部会委員長、小池晃書記局長、山下芳生副委員長の4役を決定しました。大会は、YouTubeでリアルに配信され、さらに日々の赤旗ですべての議事が公開されました。

「国民の苦難軽減」を立党の精神として102年の歴史を持つ日本共産党の一員であることを誇りに思い、私も頑張ろうと勇気が湧き出る党大会でした。

特に思い出に残る号から

No. 85

2019年8月5日

原水爆禁止2019
国民大行進に参加



No. 101 2019年12月2日

ボランティアで支援していた「わくわくサロン」が市の子育てフェスタに参加したときの記事。現在、代表が療養中となりサロンの再開がならないのが残念。



No. 63 2019年2月18日

参議院埼玉選挙区候補者として鴻巣入りした伊藤岳さんと、鴻巣駅東口街頭演説で。2019年初当選し、マイナンバー法等での鋭い質問で大活躍。



No. 164 2021年3月28日

赤見台中学校から武蔵水路に架かる柳橋までの区間の舗道修繕(イチヨウ並木の根上がり)が始まり2年越しで2023年度に完了。



No. 77 2019年6月17日

たまたま見かけたカルガモ親子。「カルガモの記事良かったよ」と吹上駅駅頭宣伝で声をかけていただきました。



「継続は力なり」ぞよ三百号
瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

すわみつえ通信300号へ皆さんからお言葉をいただきました

すわ通信300号記念をお祝い申し上げます。

これ、ひとえに議員のパートナーである編集長のご奮闘の賜物と感謝致します。世界は二つの戦争をかかえたままの年越し、年初の能登大地震に続く自衛隊機と日航機の衝突炎上。自民党の金まみれの政治の醜悪さなど胸いたむことばかりの日々でしたが、身近でのなんと嬉しいニュースよとホッコリしています。



過分にも「俳句コーナー」への関りをもつ身には、改めてその有難さと責任をかみしめながらこれからも俳句に励み、すわ通信をご支援させていただこうと、心新たにします。

【西川瑠璃子（大間在住）】

週1回発行の通信が、300号を迎えたとのこと。継続は力と申しますが、そのご努力に心から敬意を表します。

通信の魅力は、私たちの暮らしに直接役立つ情報がある事と、読んでいる人たちと繋がっている事が実感できることです。楽しみにしている俳句は、時節の暮らしや大切な人への想い、平和への願いなど、言葉の持つ力と豊かな表現で存分に伝えてくれています。



2面は全国各地の話題を取り上げているので、それも楽しみにしています。これからも通信を通して皆さんと交流ができれば嬉しく思います。その為にも、親しみと役に立つ通信を期待します。

【本間妙子（箕田在住）】

毎朝、駅頭で「すわみつえ通信」をお届けする様になって6年以上も経ちました。朝宣伝を続けて良かったと思っています。中学生が高校生になり、そして卒業していく。保育園児が小学校に入学する。各々の子どもたちの成長を見守ってきました。

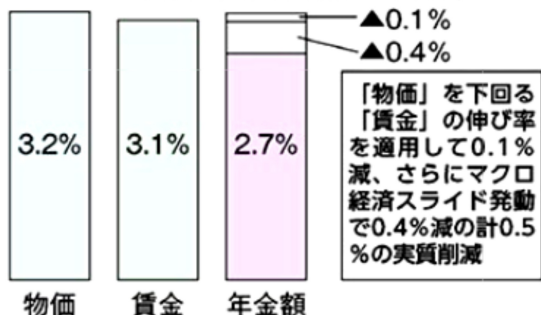
私たちが成長したいと願いつつ、すわみつえ通信を媒介に市議会報告を始めとする、今知りたいニュースを解り易くご紹介しています。

これからも読者の皆さんと「すわみつえ」をつなげる役割を果たしていきます。引き続きのご愛読をお願い致します。 【鬼澤康夫（赤見台在住）】



マクロスライドで実質削減 年金 物価下回る2.7%増 24年度

2024年度公的年金額の改定率



厚生労働省は1月19日、2024年度の公的年金額について、物価上昇率より0.5%下回る2.7%増にとどめ、実質削減する方針を明らかにしました。物価よりも低い賃金の伸び率で改定し、さらに削る「マクロ経済スライド」を、2年連続で発動するためです。

厚生年金の夫婦2人のモデル世帯では、物価上昇に見合った引き上げの場合、月23万1665円となる計算です。しかし、同スライドの発動などで、23万483円に減額されることになります。

自公政権は12年の政権復帰後、年金額の伸びを抑制・削減する仕組みを強化し、実質削減を繰り返してきました。今回の削減を許せば、安倍・菅・岸田3政権の12年間(13～24年度)に、物価は1割も上がったのに、年金額は3%程度の伸びに抑えられ、実質では、7.5～7.8%の目減りとなります。

年金額は、直近1年間の「物価」と過去3年度分の「賃金」の変動率をもとに毎年度改定されます。24年度改定の指標となる変動率は、23年の「物価」が3.2%増で、20～22年度の「賃金」が3.1%増でした。

岸田政権は、年金額の引き上げを抑制するため、まず、「賃金」が「物価」を下回った場合は、低い方の「賃金」の変動率を年金額の改定率に用いるとのルールを適用。そのうえで、「マクロ経済スライド」を2年連続で発動し、「賃金」の変動率3.1%増から、さらに0.4%を差し引き、最終の改定率を2.7%増にとどめようとしています。

(しんぶん赤旗 1月20日付)